

# 議会報告会等の運営状況調べ

【※平成28年度に実施していない場合は、直近実施状況を記載】

## 1 現在、実施している市

指定都市名	開始年度	運営主体	実施する際の会の名称	条例、運営に関する申合せ、設置要綱等	実施回数	参加者数				開催地域(会場)の考え方	出席議員の選出方法	報告会の主な内容	広報手段	当局の出席	質問、要望等に対する対応	報告書の作成、公表		来場者アンケート	派遣手続き	費用弁償の支給	【28年度に実施した都市】実施したことによる効果	課題点	議会報告会等の開催に伴う支出
						議員	議会局職員	当局職員	住民等							作成の有無	報告書の公表手段						
新潟市	24年度	広報委員会(任意組織)	議会報告会	議会基本条例 議会報告会実施要綱	16回(市内8区で年2回実施)	各区分6~7人+他区分担当の議員が相互支援として2人	1人	-	01回目:40人、141人、8人、26人、7人、19人、25人、20人の合計286人(ほか傍聴者18人) 02回目:16人、54人、16人、18人、24人、27人、31人、24人の合計210人(ほか傍聴者18人)	市内8区のそれぞれで年2回開催	全議員を班に編成 ※所属する委員(各班に4常任委員が全て入るようになっている。) ※議員自身の選挙区には出席しない。	主な事業等、テーマを設定して報告 テーマを設定し、グループワーク形式で意見交換を実施	市議会広報紙 市議会ホームページ ポスター・チラシの配付、掲示(場所:区役所等や会場、グループワークの相手先)	×	グループワーク形式で行った際の意見を後日とりまとめ、市議会ホームページに掲載。2回目は意見を区ごとにまとめたものを各区の参加団体へ郵送。	○(作成者:議員)	市議会ホームページに、報告書の概要(開催日、会場、参加人数、グループワークでの発表内容等)を公表	○	×	×	直接市民に議会活動の報告や意見交換を行うことにより、議会を身近に感じてもらい、市政に関心を持ってもらうとともに、広く市民の声を聴くことができた。	市民からの意見等についての活用方法(議会審議への活用・政策立案等) 自身の選挙区には出席しないこととしているが、市民からは出席してほしいとの意見が多い。	消耗品等【議会費】32千円 事務局職員時間外等【議会費】97千円
堺市	24年度	議会力向上会議(地方自治法に基づく協議等の場として定めた会議)	議会報告会	議会基本条例	1回	31人	14人	-	31人	市役所内の会議室等で、年1回開催 ※本会議場及び委員会室にて開催	正副議長、正副議長委員、各常任委員及び委員会所属議員2人の計4人 ※27年度から、各常任委員ごとのテーブルに分かれ、各委員会所管事項のテーマについて、議員と参加者が自由に意見交換を行う、ワールドカフェ方式で実施 ※決算審議に関する報告は、委員会別ではなく、概要を報告	市議会改革の取組み 決算審議に関する報告(委員会別) 質疑応答 意見交換会 8月定例会上程議案の審議結果の報告 ※27年度から、各常任委員ごとのテーブルに分かれ、各委員会所管事項のテーマについて、議員と参加者が自由に意見交換を行う、ワールドカフェ方式で実施 ※決算審議に関する報告は、委員会別ではなく、概要を報告	市広報紙 市議会ホームページ ポスター・チラシの配付、掲示(場所:各区役所市政情報コーナー、図書館等市内施設、市内各主要駅、バス中吊り広告、市内各大学・高校) 議員によるポスター・チラシの配布・掲示(場所等の把握していない。) 大学コンソーシアムを通じた学生へのメール配信 ※市議会広報誌は作成しておらず、市広報紙に掲載している。	×	できる限りその場で回答し、回答できかねるものは、事務局より執行部に確認し、後日改めて回答する。	○(作成者:市議会事務局)	市議会ホームページ	○	×	×	市民の声を聞く機会を持つことができる(議員と市民との交流ができる。) 開かれた議会、議会力の向上につながり、市民が議会に関心を持つきっかけとなっている。	参加人数が少ないこと 参加者の固定化 議員と市民の意見交換というよりも要望のようになってしまっている	ポスター・チラシの印刷製本費【議会費】67千円 ポスターの掲示広告料【議会費】155千円 ペットボトルお茶代【議会費】9千円
北九州市	23年度	決算特別委員会(特別委員会)	議会報告会	議会基本条例 議会報告会について 議会報告会実施細目	3回(同日実施)	①8人 ②8人 ③8人	①6人 ②4人 ③7人	-	①約20人 ②約10人 ③約40人	議場のある小倉北区と、残りの6区を東西に分けた3地域	決算審議に関する報告(委員会別) 質疑応答 意見交換会	市議会広報紙 市広報紙 市議会ホームページ ポスター・チラシの配付、掲示(場所:区役所・出張所、市民センター、生涯学習センター等) テレビ・ラジオ 案内文書の配付(郵送含む)(案内先:市内14大学)	×	原則として当日回答することとしており、回答を保留したものは、必要に応じて当局に照会し、後日、市議会ホームページ等に掲載する。	○(作成者:市議会事務局)	市議会ホームページ	○	×	×	市民に議会を身近に感じてもらうとともに、市民の声を直接聴くことにより、議会基本条例に定める市民との協働の実現に寄与するものと認識している。	市の人口に比し、参加者数が少ないと感じている。 会派や議員個人の意見表明はしないこととされているため、審議経過のみの報告会となっている。	チラシ作成(紙・印刷)【議会費】22千円 ポスター印刷【議会費】49千円 報告書印刷【議会費】9千円 報告者飲料水【議会費】4千円 手話通訳【議会費】21千円 映像収録・公開【議会費】151千円	

## 2 過去に実施していた市

名古屋市	※22年度は市内5か所で実施 ※24年度実施	市議会	議会報告会	議会基本条例	4回(うち1回は同日実施)	①13人 ②13人 ③27人 ④24人	①4人 ②4人 ③5人 ④5人	-	①80人 ②150人 ③90人 ④130人	市内2か所で開催	議会運営委員会理事メンバー(正副議長、議運委員長、副委員長、理事)、各会派幹事長、各会派政審会長、常任委員会委員長	市議会の仕組みや概要 質疑応答 なごや子ども市会 議員総会	市議会広報紙 市議会ホームページ ポスター・チラシの配付、掲示(場所:区役所の情報コーナー) テレビ・ラジオ	×	原則として当日回答しており、保留事例は(ほとんど)ない	×	※実施概要を市議会ホームページで公表	○	×	×	課題点と同じ	議会基本条例制定後、議会報告会を開催するための予算要求を行ってきたが、市長は「議会報告会の開催は、政務調査費の活用などにより、政党または個人が行うべきものである」として、予算が付かなかった。平成24年度においては、市長の意向に配慮し、公平・公正・中立性の確保に一層留意して市長同意の上モデル実施を行ったものの、市長の考え方は変わらず、現在も開催ができない状況である。	印刷物、人件費等【議会費】785千円
京都市	※26年度試行実施	市会改革推進委員会(任意組織)	議会報告会	-	1回	54人(うち19人は運営担当)	25人(うち8人は運営担当)	-	124人	交通の便がよく、150~200名の収容が可能な会場	原則として、全議員が一堂に出席	市議会の仕組みや概要 議会改革の取組み 質疑応答	市議会ホームページ ポスター・チラシの配付、掲示(場所:市公共施設、市バス、地下鉄等) テレビ・ラジオ 案内文書の配付(郵送含む)(案内先:市協議会委員)	×	原則として当日回答しており、保留事例は(ほとんど)ない	○(作成者:市議会事務局)	市議会ホームページ	○	×	×	議会報告会の実施については検討を保留している。	集客 会派としての意見の取扱い	会場使用料【議会費】267千円
神戸市	※27年度試行実施	未来都市創造に関する特別委員会(特別委員会)	市民報告会	-	1回	15人(ほか議長含め議員32名が傍聴)	-	-	190人	議場で開催	委員会ごとの所属委員が出席	主な事業等、テーマを設定して報告 質疑応答 パネルディスカッション ※同特別委員会が市長に提出した提言書の内容等について説明 ※パネルディスカッションは、同委員会が参考人4名を招致した	市議会広報紙 市議会ホームページ SNS(Facebook等) ポスター・チラシの配付、掲示(場所:区役所、市営地下鉄各駅等)	×	原則として当日回答しており、保留事例は(ほとんど)ない ※報告会の中で質疑応答の時間を設けた。	×	※録画映像及びアンケート結果を市議会ホームページで公表	○	×	×	神戸市会初の試みとして特別委員会が開催したものであり、定例的な開催を予定して実施したものではない。今後も開催の必要があれば実施を検討する。	初めての取り組みということもあり、今後の開催も含め、議会への市民参加をどのように進めていくかが今後の課題である。	プロジェクターレンタル、設営【議会費】259千円 チラシ制作【議会費】32千円 会議録作成【議会費】22千円 パネリスト謝礼等【議会費】198千円 映像配信【議会費】67千円